



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年11月8日

東

上場会社名 株式会社フェイスネットワーク 上場取引所  
 コード番号 3489 URL http://faithnetwork.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)蜂谷 二郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 (氏名)石丸 洋介 (TEL)03(6432)9937  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,873	114.7	51	—	△76	—	△55	—
2019年3月期第2四半期	2,735	—	△165	—	△262	—	△140	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△11.17	—
2019年3月期第2四半期	△28.12	—

(注) 当社は2018年3月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,599	3,622	26.6
2019年3月期	13,933	3,826	27.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,622百万円 2019年3月期 3,826百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,000	13.0	1,300	28.3	1,050	28.5	720	12.8	144.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	4,980,000株	2019年3月期	4,980,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	31株	2019年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	4,979,990株	2019年3月期2Q	4,980,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行による各種経済・金融緩和策を背景として、企業収益の改善に伴う雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、通商問題を巡る緊張、英国のEU離脱の行方等の海外経済の不確実性等を背景として、先行きは不透明な状況が続いております。また、相次ぐ自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要があります。

当社が属する不動産業界におきましては、2018年度上半期の首都圏マンションの供給は5.0%減の1万5,323戸となりました。地価の上昇や建設コストの高止まりの影響はあるものの、平均価格は4.2%上昇の6,006万円、平米単価は4.9%上昇の90.1万円と平均価格、平米単価のいずれも上昇という状況となりました（(株)不動産経済研究所調べ）。

このような状況の中、当社は城南3区を中心に、新築一棟マンションGranDuoシリーズ及び中古一棟ビルリノベーションGrandStoryシリーズの企画開発及び販売の拡大、不動産小口化商品事業、ワンストップサービス体制の充実、業務提携等による販路拡大、ブランド力の強化を図ってまいりました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、不動産商品6件、建築商品6件を販売いたしました。一方、規模拡大に伴う人員増加のため、人件費等の販売費及び一般管理費を計上したことにより、売上高は、5,873,602千円（前年同期比114.7%増）、営業利益は、51,828千円（前年同期は165,994千円の損失）、経常損失は、76,356千円（前年同期は262,219千円の損失）、四半期純損失は、55,632千円（前年同期は140,020千円の損失）となりました。なお、当社の経営成績は不動産業の性質上、賃貸需要が活発化する第3四半期会計期間及び第4四半期会計期間に売上高が大きくなる傾向にあります。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①不動産投資支援事業

不動産投資支援事業につきましては、不動産商品6件、建築商品6件を販売いたしました。一方、規模拡大に伴う人員増加のため、人件費等の販売費及び一般管理費を計上したことにより、売上高は5,584,846千円（前年同期比124.8%増）、セグメント損失は16,616千円（前年同期は217,677千円の損失）となりました。

#### ②不動産マネジメント事業

不動産マネジメント事業につきましては、売上高は288,756千円（前年同期比15.1%増）、セグメント利益は68,445千円（前年同期比32.4%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間における総資産は、前事業年度末に比べ334,031千円減少し、13,599,382千円となりました。その要因は、主に販売用商品の仕込みが順調に進んだため、仕掛用販売不動産が564,657千円、販売用不動産が505,884千円、前渡金が154,929千円増加し、現金及び預金が1,525,757千円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ130,596千円減少し、9,976,387千円となりました。その要因は、主に販売用商品の増加に伴い、借入金401,798千円増加し、工事未払金が340,418千円及び未成工事受入金が105,871千円減少、法人税等を116,305千円納付したことによるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ203,435千円減少し、3,622,994千円となりました。その要因は、主に繰越利益剰余金が四半期純損失により55,632千円、配当金の支払いにより149,400千円減少したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ1,525,757千円減少し、1,221,816千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりです。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、1,860,859千円（前年同期は5,078,206千円の支出）となりました。これは主に、不動産物件開発の規模拡大及び順調な販売用商品の仕込みに伴い、たな卸資産が1,211,990千円増加、税引前四半期純損失76,356千円計上、工事未払金340,418千円減少、未成工事受入金105,871千円減少等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、9,287千円(前年同期は16,349千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出を1,430千円、無形固定資産の取得による支出を8,967千円計上し、その他(長期預け金等)が19,684千円減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、325,814千円(前年同期は2,665,621千円の収入)となりました。これは主に金融機関からの借入により、長期借入金による収入が3,131,900千円及び短期借入金の純増額が621,602千円あった一方、長期借入金の返済による支出3,351,703千円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,747,573	1,221,816
完成工事未収入金	356,883	71,115
販売用不動産	1,824,540	2,330,424
仕掛販売用不動産	6,612,517	7,177,174
前渡金	278,829	433,759
その他	24,664	145,476
流動資産合計	11,845,009	11,379,766
固定資産		
有形固定資産		
建物	799,713	901,333
構築物	1,456	2,406
機械及び装置	61,614	61,614
車両運搬具	18,455	18,455
工具、器具及び備品	43,946	43,946
土地	1,166,011	1,215,389
減価償却累計額	△131,247	△165,150
有形固定資産合計	1,959,949	2,077,995
無形固定資産	7,723	20,733
投資その他の資産	120,731	120,885
固定資産合計	2,088,404	2,219,615
資産合計	13,933,413	13,599,382

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	615,564	275,146
短期借入金	1,261,400	1,883,002
1年内返済予定の長期借入金	2,252,077	3,383,077
1年内償還予定の社債	53,400	53,400
未払金	84,892	47,003
未払法人税等	132,126	8,919
未成工事受入金	332,728	226,856
預り金	199,908	217,603
賞与引当金	108,917	108,915
アフターコスト引当金	6,159	8,684
その他	36,800	22,413
流動負債合計	5,083,975	6,235,021
固定負債		
社債	79,900	153,200
長期借入金	4,911,227	3,560,424
その他	31,881	27,741
固定負債合計	5,023,008	3,741,365
負債合計	10,106,984	9,976,387
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	681,120	681,120
資本剰余金		
資本準備金	631,120	631,120
その他資本剰余金	220	220
資本剰余金合計	631,340	631,340
利益剰余金		
利益準備金	10,000	10,000
その他利益剰余金		
特別償却準備金	13,782	11,241
繰越利益剰余金	2,496,990	2,294,498
利益剰余金合計	2,520,772	2,315,739
自己株式	—	△34
株主資本合計	3,833,232	3,628,164
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△6,802	△5,170
評価・換算差額等合計	△6,802	△5,170
純資産合計	3,826,429	3,622,994
負債純資産合計	13,933,413	13,599,382

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	2,735,136	5,873,602
売上原価	2,216,580	5,065,390
売上総利益	518,555	808,211
販売費及び一般管理費	684,550	756,383
営業利益又は営業損失(△)	△165,994	51,828
営業外収益		
自動販売機収入	131	154
助成金収入	400	700
保険料収入	—	3,137
その他	207	766
営業外収益合計	739	4,758
営業外費用		
支払利息	77,477	75,403
支払手数料	3,134	33,609
その他	16,351	23,931
営業外費用合計	96,963	132,944
経常損失(△)	△262,219	△76,356
特別利益		
固定資産売却益	45,448	—
収用補償金	25,178	—
特別利益合計	70,627	—
特別損失		
固定資産除却損	13,325	—
特別損失合計	13,325	—
税引前四半期純損失(△)	△204,917	△76,356
法人税、住民税及び事業税	1,217	1,145
法人税等調整額	△66,114	△21,868
法人税等合計	△64,897	△20,723
四半期純損失(△)	△140,020	△55,632

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△204,917	△76,356
減価償却費	31,350	27,089
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,797	△1
アフターコスト引当金の増減額(△は減少)	△249	2,525
支払利息	77,477	75,403
収用補償金	△25,178	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△45,448	—
有形固定資産除却損	13,325	—
完成工事未収入金の増減額(△は増加)	△179,363	285,768
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,809,804	△1,211,990
前渡金の増減額(△は増加)	△203,817	△154,929
工事未払金の増減額(△は減少)	△200,595	△340,418
未成工事受入金金の増減額(△は減少)	△229,192	△105,871
その他	△76,579	△169,906
小計	△4,829,194	△1,668,689
利息及び配当金の受取額	71	52
利息の支払額	△79,167	△75,917
法人税等の支払額	△169,915	△116,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,078,206	△1,860,859
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,108	△1,430
有形固定資産の売却による収入	7,473	—
無形固定資産の取得による支出	—	△8,967
その他	△6,714	19,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,349	9,287
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	986,600	621,602
長期借入れによる収入	3,090,000	3,131,900
長期借入金金の返済による支出	△1,351,892	△3,351,703
社債の発行による収入	100,000	100,000
社債の償還による支出	△10,000	△26,700
配当金の支払額	△149,086	△149,248
その他	—	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,665,621	325,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,428,934	△1,525,757
現金及び現金同等物の期首残高	3,458,046	2,747,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,029,112	1,221,816

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	不動産投資支援事業	不動産マネジメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,484,364	250,772	2,735,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,484,364	250,772	2,735,136
セグメント利益又は損失(△)	△217,677	51,682	△165,994

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計 (注)
	不動産投資支援事業	不動産マネジメント事業	
売上高			
外部顧客への売上高	5,584,846	288,756	5,873,602
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,584,846	288,756	5,873,602
セグメント利益又は損失(△)	△16,616	68,445	51,828

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。